

# 年頭にあたって

岩見沢市長 松野 哲

新年あけましておめでとうございます。市民の皆さまには、新たな年を健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

私は、市民の皆さまとの信頼を市政運営の基本とし、常に市民の立場に立ったまちづくりを進め、市民本位の市政、開かれた市政の実現を目指していく決意を新たにしています。

## 昨年を振り返り

昨年、岩見沢市は開基130年・市制施行70周年を迎えました。

この記念の年を多くの市民の皆さまとともに祝い、元氣なふるさとを実現し、未来の岩見沢への思いをひとつにすることができました。

私はこの節目の年を「市役所改革元年」と位置付け、新たに策定した行政改革大綱のもとで、市民の満足度を高める行政サービスを効率的に提供する経営型の行政運営

への転換を進めてまいります。

## 重点的に取り組む分野として

1点目は市民の安全・安心な暮らしです。市政の基本である市民の安全・安心の確保と生活の質の向上に引き続き取り組んでまいります。

自然災害は、いつ襲ってくるか分かりません。情報の収集と情報の提供体制を整備するとともに、災害に強いまちづくりを進めてまいります。

また、雪対策は市民全体で克服すべき重要な課題です。除排雪の機動力を高めるとともに、地域の雪押し場の確保や高齢者宅のパトロールの強化など、総合的な雪対策の充実を図ってまいります。

岩見沢の特色である緑豊かな環境の整備、快適な市民生活の基盤整備に努めてまいります。

2点目は市民の健康な暮らしです。高齢社会を迎え、市民の皆さまが健康であること、健康になることがとても重要です。

安心できる子育て環境、質の高い教育環境、子どもから高齢者まで市民の誰もが健康で生きがいを持って暮らせるまちづくりを進めます。

3点目は地域経済の活性化です。

基幹産業である農業は、TPP協議の動向や米の生産調整にかかる国の施策変更に対応し、地域産業としての振興を図っていかねばなりません。

また、中心市街地の活性化、雇用の拡大を図るため、中長期の財政計画に基づき、公共投資である普通建設事業費の確保をはじめ景気の好循環の実現に向けて取り組んでまいります。

4点目は市民とともに築くまちづくりです。

市民の皆さまがそれぞれの立場で、市政に参加していただき、一人ひとりが自己の役割を果たしながら連携・協力し合う、共創・協働により、私たちのまち、岩見沢を創っていくことが大切だと考えています。

そのため、情報をより多くの媒体で提供し、市民の皆さまと共有するとともに、市政地区懇談会などを通して、皆さまとの対話を積極的に進め、説明責任を果たし、課題をしっかりと把握しながら、スピード感を持って施策に反映させてまいります。

私は、市役所をサービス業だと考えています。市役所を、市民の役に立つ所にするため、「職員力」と「政策力」を高めるとともに、市民の皆さまの「市民力」とを合わせ、この岩見沢を、住んでいて良かったと実感していただけのまち、次の世代に誇りを持って引き継いでいくことができるまちを目指してまいります。

この新しい年が皆さまにとりまして、素晴らしい1年となりますよう心からご祈念を申し上げます、新年のあいさつといたします。

平成26年 元旦



昨年10月5日に開催した子ども市議会で、小学生の皆さんと岩見沢市の未来を議論しました